

2025年7月号 Vol. 84 (2025年7月1日発行)

せんしゅん

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索



ISO9001:2015認証取得
日本医療機能評価 (3rdG:Ver.2.0) 認定病院

発行責任者：菊地 孝三



善峯寺のあじさい苑(京都市西京区)

写真提供：元・乙訓医師会会長 斉ノ内先生(さいのうち医院)

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

医療・介護の将来に思いを馳せ

—逆風の医療・介護業界で当法人が果たすべき使命—



医療法人社団 千春会
副理事長 菊地 三弥

木々の緑も濃く、太陽が輝くまぶしい季節を迎えます。今年も猛暑の夏が予測されますが、皆さまも、暑さ対策をしっかりしていただき、体調を十分に整えてお過ごし下さい。

2025年の幕開けから、はや、半年が経ちましたが、世界を取り巻く政治・経済状況は混迷を極めていると言えます。世界のみならず我が国も同様、不祥事による政治不信、経済界においては、円安や需給ギャップの拡大に伴う物価高に加え、トランプ関税と言われる不安要因が増す中、まさに先行きが見通せない状況となっています。

医療・介護業界では、令和6年度の診療報酬、介護報酬同時改定から1年が経過した今、全国の医療機関の経営状況が徐々に明らかになってきました。病院の経営状況は極めて厳しく、大多数の病院が経常赤字との報告もある中、さらに人材不足という問題が加速度的に進行するなど、病院における医療提供体制の確保が、より一層厳しくなっております。

医療業界では、これまであまり耳にすることが無かった「統合と再編」や「撤退戦」といったワードがあちこちから聞こえてくるなど、今がまさに時代の転換点であるかのように感じています。

各界逆風の中ではありますが、そのような時にこそ、我々医療法人は、原点である法人理念に立ちかえり、良質な医療サービスを効率的に提供することに一層注力していくことが重要であると考えています。

加えて今後確実に増大していく医療・介護需要に対して、着実にサービス提供体制を確保していくことも肝要です。

千春会では、昨年も多くの新規設備、新規施設を整えてまいりましたが、今年もさらに充実すべく、患者さん、利用者さんの安全確認に有効な「眠りスキャン」を病院・介護施設で導入いたしました。また、医療の質向上の一つとして内視鏡検査では「AI内視鏡」の導入を予定しております。

介護部門におきましては、デイサービスセンター滝ノ町（定員：100名）の増改修やデイケアセンター岸辺（定員・1階：午前100名、午後100名、2階：30名）の拡大等を順次予定しており、今後も質・量ともに充実したサービスの提供に努めてまいります。また、ハード面のみならず、この4月からは麻酔科の常勤医師1名に加え、非常勤ではありますが、「手」を専門とした整形外科のスペシャリストが加わり、股関節再建術や手術支援ロボットベリス、PRP療法等と共に整形外科が、さらに充実した診療体制となりました。

まだまだ予測できない社会情勢ではありますが、千春会は時流の波を違えることなく、しっかりと方向性を定め、地域の方々が健やかに安心して暮らし続けていただけるよう、医療、介護、保育等の多方面から、しっかりとサポートしてまいります。

これからもご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学大学院名誉教授 田中 滋先生講演会 開催



今年も、埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学大学院名誉教授の田中 滋先生による講演を開催いたしました。先生は日本の医療・介護政策へのご提言や研究で国の政策実現に向け、長年ご尽力されてこられました。会場には長岡京市中小路健吾市長、松本副市長もお越しになり、マクロの視点、詳細な分析に基づく講演を拝聴し、視座を高めることができました。



講演中の田中 滋先生

テーマ「地域を支える医療とは」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

冒頭、データを基に「要介護認定率と、がん死亡率は半減し、70～75歳の死亡率も減少しているが、超高齢者の増加により、90歳超での要介護率・認知症率が増加する」等を示され、超高齢者社会では独居の方が長生きすれば、相談相手がなくなるため、尊厳ある看取りをどうするか「看取りと身寄り問題」が課題となること。今後は「予防」という健康政策が合致しない状況になるとして、視点変換の重要性をご教示いただきました。

また、病院は専門性に加え多様性が求められ、プライマリケアから看取りまでを踏まえた地域づくりの視野を持つべきとの見解を示されました。

さらに、行政と医療機関が複合し、変化する住民ニーズに合わせた「まちづくり」が必要であるとされ、鹿児島や郡山の医療法人施設を具体例に、地域住民が必要とする保育園、図書館、保健室、地域食堂、学習施設、高齢者ケア施設、健診センター、学童保育、スポーツ施設まで、総合的に運営されている「まちの集合施設」を紹介されました。素晴らしい総合施設に未来の輝かしい理想形を描くと共に、看取りニーズの重要性や独居で裕福な身寄りのない人への犯罪の危険性など新たな現実を認識することができました。

刻々と変化する地域ニーズの把握には、例えば大学連携で定期的にアセスメントを行うなど、ニーズに応じた地域デザイン、地域マネジメントへつなぐことが重要であり「まちのトータルデザイン」が問われること。行政との医療・介護連携だけではなく、住民や地元産業も一定の役割を担うといった思考が必要であること。そのためには多業種のグループワークで、地域のあるべき姿を積み上げ、構築していくことが方策の一つであり、これから求められるのは「子どもも高齢者も安心して暮らせる複合的な地域、街づくりである」として講演を締めくくられました。

医療・介護、経済と各界が非常に厳しい時代ですが、先生のお話を拝聴し、参加者それぞれが理想とするまちづくりモデルや明るい未来を想起することができ、大いに力づけられた素晴らしい講演会となりました。



右より：藤原院長、菊地理事長、田中先生、中小路市長、松本副市長、菊地副理事長

こ報告

新任常勤ドクター紹介 4月より

新任のご挨拶

このたび4月より着任いたしました、麻酔科医の松隈 遥と申します。

これまで長崎大学病院にて初期研修を修了し、その後麻酔科医として長崎大学病院、長崎県内の地域中核病院で手術中の麻酔管理や周術期診療などに携わってまいりました。

プロフィール

【学歴】平成30年 佐賀大学医学部医学科 卒業
【専門】麻酔科
【職歴】平成30年 長崎大学病院
平成31年 佐世保市総合医療センター
令和元年 長崎大学病院 麻酔科
令和2年 佐世保市総合医療センター
副医長
令和7年 千春会病院 麻酔科
【資格】日本専門医機構認定 麻酔科専門医
麻酔科標榜医

当院では、患者さまが手術に安心して臨めるよう、安全かつ穏やかで周術期に痛みや苦痛のない麻酔管理を心がけてまいります。また、手術前に麻酔についての説明も丁寧に行い、患者さまの不安を少しでも和らげられるよう努めてまいります。

多職種の皆さまと連携し、チーム医療の一員として少しでも地域の皆さまのお役に立てましたら幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



まつくま はるか

麻酔科 松隈 遥先生

デイケアセンター岸辺

この夏 リニューアル間近

新しく、広くなる 機能訓練特化型のデイケアスペース

1階 機能訓練特化型デイケア 増床 午前100名 / 午後100名

デイケアセンター岸辺(機能訓練特化型)が1階の広いスペースに移り、新しくなります。広いフロアは、リハビリマシーンを多数そろえ、スポーツクラブのようにしっかりトレーニングできる環境を整えていますので、これまで以上に、のびのびとリハビリを楽しめるようになります。曜日ごとに作業療法、理学療法、言語聴覚療法など専門性に特化したリハビリプログラムを設定することで、機能の向上にしっかりと取り組んでまいります。

ご利用体験できます **電話 06-6190-1851**

大阪府吹田市岸部新町 3 番33 Patona吹田健都1F・2F(1F増床)



イメージ写真



股関節再建手術患者の会、「股春会(こはるかい)」発足

第1回 交流会開催 股関節再建センター長 藤田 裕先生講演会 他

長岡京市生涯学習センター バンビオ 4階 交流室

股関節再建センター長 藤田 裕先生の股関節再建手術を受けられた患者さん相互交流の「患者会」が発足しました。小春日和のように温かい会になるようにと会員さんが命名され、股関節の「股(こ)」、「千春会」の「春」、つなげて「股春会(こはるかい)」です。

自宅でのリハビリや最新情報を共有したり、ウォーキングしたり、より良い術後生活を支え合うための仲間づくりの場です。

第1回は40名が参加。藤田先生の講演では、幼少期から現在までのプロフィール、千春会病院とのご縁や、理事長室が手術室になった経緯等、和やかに話をされました。さらに股関節再建手術に関する専門的な説明や在院中、退院後の関わりまで丁寧な解説があり、最後に先生は75歳までしっかり手術をするとの決意を語られ、皆さん頼もしそうに聴き入っておられました。

手術看護認定看護師の川原主任からは、患者さんが見られない実際の手術写真で手術中の様子などを説明。長時間手術の後に撮影した笑顔の藤田先生、川原

主任の写真を見せながら「成功することが術者も患者さんにとってうれしいことです。患者さんは不安や恐怖を感じておられるわけですから、術中は藤田先生から非常に厳しい指示が飛びます。だからこそ、これまで失敗は1例もありません」と断言。皆さん大きくうなずかれ、自信をもった手術であることが十分に伝わったようです。

リハビリ科理学療法士の福留主任からは、分かりやすいリハビリの話があり、自宅で無理なく効果的な体操を紹介し、全員で実際に行いました。

終わりに股春会の会長から「先生の手術は最高です。私も友人には藤田先生にしてもらいなさいと勧めています」との言葉に大きな同意の拍手がありました。「本当に参加して良かったです。また、皆さんとお話したいです。今は社交ダンスを習っているんですよ」「痛みがなくなって良かったです」「今日はとても分かりやすく良かったです。これからも頑張ろうと思いました」と皆さん笑顔にあふれていました。

多くの患者さんがこの会に期待され、先生の手術結果に感謝しておられることが、よくわかる温かい会になりました。

今後は、役員さん方の運営になりますが、拠り所となるような会になればと思います。



藤田センター長(中央)、
手術看護師川原主任(右)、
リハビリ科福留主任(左)



講演中の藤田先生

これからの地域医療につなぐため ドクター研修

千春会では京都府立医科大学や済生会病院と連携し、地域医療研修として医師を受け入れています。今回研修の京都府立医科大学で病理診療科を目指す乾医師からは「研修は急性期や離島医療が



院長より内視鏡研修

多く、その後の患者さんの生活が見えてきませんが、千春会では病院を基軸に老健や小規模多機能型など様々な介護サービスも運営しておられ、患者さんの「生活」を見据えた包括的な医療・介護を提供しておられるのが、地域住民の安心や信頼につながっています。急性期から在宅復帰への壁は高いのですが、その中で回復期、慢性期、在宅まで継続して診ていくという病院はなかなか無いと思います。本当に地域医療に貢献されておられるところが

素晴らしいと思いました。千春会病院で1か月研修させていただき、本当に良かったです」との感想をいただきました。乾先生は、多種の施設で研修され、積極的に利用者さんや職員に接しながら、質問も様々にしておられました。

乾先生は、希望する医師が少ないが重要な役割を担うと言われる分野だからこそ、社会貢献できると考え、「病理診療科」に進まれる予定です。

この研修が今後の一助になればと思います。



老健春風で研修中の乾医師

季節の行事を大切に

五月こどもの日

小規模保育園アトリエ 0歳～2歳 定員19名 (保育・高齢複合施設 西山天王山)

高齢者施設と保育園が同施設内にある「保育・高齢複合施設 西山天王山」は、子どもと高齢者が自然に触れ合える施設です。子どもの日は、立派な五月人形が設置され、先生方力作のくぐって遊べる「こいのぼり」で楽しく運動遊び。ベランダでは「しょうぶ湯」に足をつけたり、近くにこいのぼりを見に行ったり、子どもたちは大喜び。季節感あふれる一日となりました。また、施設内の「小規模多機能型居宅介護のどか」のテラスにお芋の苗をみんなで植えてみました。「秋には

大きなお芋ができるかな～」と先生方。子どもたちは、土の感触を楽しみながら、小さな手で無心に苗を植えていました。アトリエ保育園では、日々の園生活で四季を感じられるイベントを開催し、子どもたちの豊かな情操につなげていきます。



こいのぼりのトンネル遊び

たくさんこのこいのぼりを見に



楽しいお芋の苗植え

歳時記
1

せんしゅん

介護老人保健施設 春風 地域とつながる イベントが多数！



なつかしい写真を楽しむ利用者さん

今年14周年を迎えた「老健春風」は、交流スペースやデイケアのリハビリマシンなどを開放し、自治会や地域の方にもご利用いただいています。ご利用者さんにも地域との関わりを持っていただけるよう、団体や個人ボランティアさん等に来ていただき、様々なイベントを開催しています。今回は、「両国街道の歴史」としてスライドを使って、NPO長岡京市ふるさとガイドの会の方が、なじみのある懐かしい場所を説明され、利用者の皆さんも「小さい頃に見た情景などを思い出しました」と、地域の懐かしい写真に見入っておられました。これからも様々なイベントを通じ、地域と共にある施設を目指してまいります。

歳時記
2

せんしゅん

医療と介護の融合 看護・介護合同研修で さらなる知識向上を

法人では、「医療と介護の融合」をさらに深めるため、介護部門の責任者、相談員を対象に医療知識を深める研修を年2回開催しています。救急時の対応、感染ゾーニング、感染対策等テーマを決めて実施しており、今年は看護部の感染症看護専門看護師である足立師長が講師となり、感染対策や予防について解説しました。

全職員で専門知識を共有し、さらに安全なサービス提供に努めてまいります。



解説中の足立師長（感染症看護専門看護師）

歳時記
3

せんしゅん

長岡京市美化運動 ゴミゼロ運動に 参画

長岡京市が毎年取り組んでいるゴミゼロ運動に今年も参画しました。病院から、看護部、リハビリ科、医事課などの職員が、病院や駅前など周辺を清掃しました。病院も介護施設も常に環境整備に取り組んでいますが、毎年、この運動に参画することで、さらなる職員の美化意識向上へつながっています。



病院周辺を清掃中の職員たち

編集後記

今号表紙は、遊龍の松で有名な「善峯寺」。平安期より皇室の御崇敬を受け、応仁の乱で焼失後、5代將軍徳川綱吉公の母・桂昌院の寄進にて復興の古刹です。西山山麓の広大な境内には、20の塔堂伽藍があり、高台からは山一面の季節の花々。あじさいの花越しに、京都市内の大パノラマを眼下一望すれば、ご本尊千手観音、釈迦如来、薬師

如来が遍く広く、人々を御守りするかのよう。千春会もいかなる時も、医療・介護・保育さまざまに、大きく広くしっかりと地域の皆さまを支え、守る法人であり続けます。高所に立てば視界は広く。世界が揺らぐこんな時こそ、明るく大きく「絶景かな絶景かな〜」（弘）

表紙写真：元・乙訓医師会会長 斉ノ内先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります（インフォームドコンセント）。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります（セカンドオピニオン）。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615